



## 目 次

刊行にあたって

## 前篇 現代解析入門(藤田 宏)

はじめに..... 1

## 第1章 Fourier 級数

- §1.1 ことのおこり ..... 5
- §1.2 Fourier 級数の簡単な性質 ..... 9
- §1.3 複素 Fourier 級数 ..... 17
- §1.4 区分的に滑らかな関数の Fourier 級数 ..... 24
- §1.5 Fourier 級数の  $L^2$  収束 ..... 27
- §1.6 Fourier 級数の各点収束 ..... 43

## 第2章 Fourier 変換

- §2.1 予備的考察 ..... 57
- §2.2 急減少関数の族  $\mathcal{D}(\mathbf{R}^1)$  ..... 60
- §2.3  $\mathcal{D}(\mathbf{R}^1)$  における Fourier 変換 ..... 62
- §2.4 たたみ込みと Fourier 変換 ..... 68
- §2.5 区分的に滑らかな関数の Fourier 変換 ..... 71
- §2.6 応用例 ..... 74
- §2.7 多変数の Fourier 変換 ..... 79

## 第3章 常微分方程式

- §3.1 導 入 ..... 85
- §3.2 1階常微分方程式 ..... 89
- §3.3 1階常微分方程式の求積法 ..... 103
- §3.4 定数係数の線型方程式 ..... 110
- §3.5 定数係数の線型方程式(つづき) ..... 120

## 第4章 常微分方程式(つづき)

- § 4.1 初期値問題 ..... 135  
 § 4.2 境界値問題 ..... 143  
 § 4.3 固有値問題 ..... 156

## 第5章 超関数

- § 5.0 予 備 ..... 179  
 § 5.1 超関数の定義 ..... 182  
 § 5.2 超関数の基本演算 ..... 189  
 § 5.3 台が有界な超関数 ..... 205  
 § 5.4 緩増加な超関数 ..... 224  
 § 5.5 多変数の超関数 ..... 234

- 参 考 書 ..... 239

## 後篇 測度と積分(吉田耕作)

- ま え が き ..... 245

## 第1章 序 論

- § 1.1 Riemann の和. Darboux の定理 ..... 247  
 § 1.2 Riemann 可積分性についての du Bois-Reymond の定理  
 と Lebesgue の定理 ..... 250  
 § 1.3 Lebesgue の和. Lebesgue 積分 ..... 254

## 第2章 (完全加法的)測度

- § 2.1  $n$ 次元 Euclid 空間  $R^n$  における Lebesgue 測度 ..... 259  
 § 2.2 Carathéodory の測度論 ..... 262  
 § 2.3 Carathéodory の方法による Lebesgue 測度の導入 ..... 268  
 § 2.4 Lebesgue 可測でない集合の存在. Solovay の公理 ..... 276  
 § 2.5 Hopf の拡張定理. Lebesgue-Stieltjes 測度 ..... 278

## 第3章 可測関数

- § 3.1 可測空間における可測関数 ..... 285
- § 3.2 可測関数による写像の逆像. Borel 可測性と Lebesgue  
可測性 ..... 290
- § 3.3 測度空間における可測関数 ..... 292
- § 3.4 Egorov の定理と Lusin の定理 ..... 295
- § 3.5 測度空間の Lebesgue 式拡張による完備化 ..... 297

## 第4章 (Lebesgue 式) 積分

- § 4.1 Saks の和. Lebesgue 式の定積分の定義 ..... 303
- § 4.2 Fatou の補題 ..... 307
- § 4.3 定積分の加法性と線型性 ..... 311
- § 4.4 Levi および Lebesgue の項別積分定理. 被積分関数の  
削減(mutilation)による定積分の近似 ..... 317
- § 4.5 Riemann 積分と Lebesgue 積分. Lebesgue 積分の  
Riemann 積分による近似 ..... 321
- § 4.6 関数間の距離  $\text{dis}(f, g) = \left( \int_S |f(x) - g(x)|^p \mu(dx) \right)^{1/p}$   
および関数列の平均収束 ..... 324

第5章  $\mathbf{R}^1$  における微分と積分の関係

- § 5.1 Dini の導来数 ..... 330
- § 5.2 区間のすべての点で有限な微分係数をもたない連続関数の  
例. 任意の零集合のすべての点で微分係数が  $+\infty$  になる  
連続関数の例 ..... 332
- § 5.3 Vitali の被覆定理 ..... 337
- § 5.4 単調非減少関数の微分に関する Lebesgue の定理 ..... 340
- § 5.5 Fubini の項別微分定理と Lebesgue の密度定理 ..... 343
- § 5.6 有界変動関数の微分 ..... 345
- § 5.7 微分と積分の関係(1). 原始関数と不定積分との  
一致するための条件 ..... 348
- § 5.8 微分と積分の関係(2). 可積分関数の不定積分の  
(狭義)絶対連続性 ..... 354
- § 5.9 有界変動関数の Lebesgue 分解. Lebesgue の特異関数 ..... 358

§ 5.10	部分積分と置換積分	360
§ 5.11	曲線の長さ	363
§ 5.12	Denjoy 積分について	366
<b>第 6 章 多重積分と反復積分. Fubini の定理</b>		
§ 6.1	直積空間における可測性	369
§ 6.2	積測度の存在と一意性	373
§ 6.3	Fubini の定理	377
§ 6.4	Euclid 空間の積測度	380
<b>第 7 章 完全加法的集合関数</b>		
§ 7.1	完全加法的集合関数の値域	383
§ 7.2	Hahn 分解	385
§ 7.3	Jordan 分解	388
§ 7.4	絶対連続性と特異性. Lebesgue 分解	391
§ 7.5	可積分関数の不定積分の特徴付けとしての Radon-Nikodym の定理	395
§ 7.6	完全加法的集合関数列の極限に関する Vitali-Hahn-Saks の定理	400
§ 7.7	有限加法的集合関数の, 完全加法的集合関数と純有限加法的集合関数の和への分解	405
§ 7.8	$\mathbf{R}^k$ における完全加法的集合関数の微分についての Lebesgue の定理	406
参 考 書		415
解 答 ・ ヒ ン ト		417
索 引		

